

令和7年度

國學院大學

オープンカレッジ

もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學

月草の うつろひ易く 思へかも
我が思ふ人の 言も告げ来ぬ



萬葉集 卷第四 五八三

つきくさの うつろひやすく
月草之 徒安久 念可母 我念人之
こともつけこぬ
事毛告不来

(月草の)すぐに変りやすい気持で 思っでいらつしやる
からでしょうか 恋しいあなたからの 言伝でもないのは



ツユクサ

萬葉の花の会 提供

國學院大學 オープンカレッジへようこそ

國學院大學オープンカレッジは、本学の伝統と実績に基づく学問を、年齢・性別・学問等を問わずすべての方に開放し、人生をより豊かな、充実したものにするための一助となることを願い、平成4年に7講座で産声を上げました。皆様に支えられ、これまで多くの方々にご受講いただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

昨年度は、「対面講座」を25講座、書道講座を「実技講座」として4講座、すべて対面により実施いたしました。今年度は新規・復活講座を含む全28講座をすべて対面で開講いたします。

受講者の皆様にとって、本学のオープンカレッジが豊かな生涯学習の場であると同時に、潤いのある日常生活の糧となりますことを、心から願っております。

國學院大學エクステンションセンター

建学の精神

國學院大學設立の背景と経緯

明治維新当時、わが国を欧化万能の風潮が覆い、日本古来の思想・文物が顧みられない状態となった。しかし、そうした世風を憂慮し、維新の達成には国民道德の確立をもって、国家独立の基礎とする必要があるという気運が起こった。

このような気運を背景として、本学の前身である皇典講究所が明治15(1882)年に現在の千代田区飯田橋に創立された。11月4日に行われたその開校式において、初代総裁の有栖川宮幟仁親王が述べられた告諭の中の「凡學問ノ道ハ本ヲ立ツルヨリ大ナルハ莫シ故ニ國體ヲ講明シテ以テ立國ノ基礎ヲ鞏クシ徳性ヲ涵養シテ以テ人生ノ本分ヲ盡スハ百世易フベカラザル典則ナリ」という主旨が本学建学の精神の基底を成す。明治23(1890)年7月、皇典講究所初代所長山田顯義伯爵の公表した「國學院設立趣意書」によって更に拡大・強調された。

この精神が今日まで継承され、國學院大學が神道精神に立脚した道義の大学として、輝かしい伝統と独自の学風を築き上げている。

個人情報の取り扱いについて

國學院大學では、「個人情報に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取扱いに努めています。オープンカレッジ受講申し込みにあたって、お知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は、國學院大學エクステンションセンター(企画課)におきまして、①受講手続き、②オープンカレッジ受講に関する管理、連絡、および手続き、③オープンカレッジ開催施設、設備利用に関する管理、連絡、および手続き、④受講者本人に送付する各種書類の発送、およびその他の連絡、⑤当センターが行っている各種講座案内と、これに付随する事項を行うために利用します。

上記は、その一部の業務を國學院大學エクステンションセンター(企画課)より当該業務の委託を受けた業者(以下、「受託業者」と言います)において行います。業務委託にあたり、受託業者に対して、受託した業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。

國學院大學エクステンションセンター(企画課)は、個人情報は原則として第三者に開示いたしません。ただし、法律上開示をすべき業務を負う場合や、受講者本人または第三者の生命/身体/財産その他の権利利益などを保護するために必要であると判断する場合、その他緊急の必要があり個別の承諾を得ることができない場合には、例外的に本人または第三者の個人情報を開示することがあります。予めご了承ください。

開講講座(全28講座)

申込方法については30ページをご参照ください。

申込締切：3月19日(水)



目次

ページ

國學院大學オープンカレッジのご案内	4
オープンカレッジの受講にあたって	6
オープンカレッジFAQ	7

◆対面講座

N0	講 座 名	講 師	回数	時期	ページ
01	神道を知る講座20 ―神話と祭祀の本源を求めて・最終章―	岡田 莊司	10	通年	10
02	出雲大社の歴史 ―神代から現代までたどる―	西岡 和彦	10	通年	11
03	『古事記』上巻を読む ―神生み～黄泉国―	渡邊 卓	10	通年	11
04	神道考古学	深澤 太郎	5	前期	12
05	水中考古学と東アジアの中・近世世界	池田 榮史	10	通年	12
06	万葉古代学アラカルト ―旬の話題を取り入れて―	上野 誠	5	通年	13
07	万葉集を読む ―巻四・巻五を読み直す―	土佐 秀里	10	通年	13
08	源氏物語の巻々を読む ―「真木柱」巻～「若菜下」巻―	竹内 正彦	10	通年	14
09	古典和歌入門 ―西行と日本文学―	荒木 優也	5	後期	14
10	能と文学19 ―古典文学から能へ―	岩崎 雅彦	10	通年	15
11	松尾芭蕉の紀行文を読む ―『おくのほそ道』・『幻住庵記』―	中村 正明	10	通年	15
12	『源氏物語』全講(2)	小田 勝	10	通年	16
13	文学の風景 ―戦中から戦後へ―	岡崎 直也	5	前期	16
14	『論語』を読む ―朱熹の注釈・日本人の解釈―	石本 道明	10	通年	17
15	國學院の中国学 ―漢文古典を学ぶ―	浅野 春二 他	5	後期	18
16	民俗伝承学から日本文化を読む ―「稲と米の日本」の歴史と民俗―	新谷 尚紀	10	通年	19
17	遊べる日本美術 ―浮世絵と江戸ライフ・薦屋重三郎と江戸出版界―	藤澤 紫	5	前期	19
18	古典と民俗学5	大石 泰夫 他	10	通年	20
19	歴史のなかの日本と韓国 ―古代の信仰と社会―	山崎 雅稔	5	後期	21
20	吾妻鏡を読む	高橋 秀樹	5	後期	21
21	江戸時代の古文書を読む ―家光政権成立期の古文書―	根岸 茂夫	10	通年	22
22	『資治通鑑』を読む	江川 式部	5	後期	22
23	ロシア語のとびらを開く 歴史、文化、そして現代のロシアを知る	神長 英輔	5	前期	23
24	世界の中の日本 ―激動の国際情勢を読む―	久保田るり子	10	通年	23

◆実技講座

実技講座「書道」の受講にあたって	24
------------------	----

N0	講 座 名	講 師	回数	時期	ページ
25	漢字(一)〈中級・上級〉 ―行書・般若心経―	野村ひかり	10	前期	25
26	漢字(二)〈中級・上級〉 ―集字聖教序―	野村ひかり	10	後期	25
27	仮名(一)〈初級〉 ―仮名書道に親しむ(平仮名・変体仮名)―	橋本 貴朗	10	前期	26
28	仮名(二)〈中級〉 ―継色紙―	橋本 貴朗	10	後期	26

●エクステンションセンターが主催する公開講座のご紹介	27
●オンライン公開講座専用HPのご利用方法	28
●國學院大學博物館のご紹介	29
●「國學院大學萬葉の花の会」のご紹介	29
●オープンカレッジ申し込み方法	30
●申込記入例	32
●「受講申込書」(FAX用)	
●「受講申込書」(ハガキ)	

講座内容の見方

渋谷キャンパス

02

出雲大社の歴史 ―神代から現代までたどる―

講師



國學院大學
教授・博士(神道学)
にしおか かずひこ
西岡 和彦
専門 神道思想史・
分野 神道神学

講座内容

本講座は、昨年度からスタートしました。昨年度は、『古事記』『日本書紀』や『出雲国風土記』にもとづいて、スサノオやオオクニヌシを中心にお話ししました。今年度からは、出雲大社の式年遷宮を中心にお話ししたいと思います。出雲大社は、平成の大遷宮をあわせ29回の式年遷宮を行っています。今年度の講座では、その第1回から第6回あたりまでを、10回にわたってゆっくり見てみたいと思います。

各回の式年遷宮の特徴を簡単に述べますと、
第1回は、皇子の病氣回復に感謝して、垂仁天皇が出雲大社を造営した話です。
第2回は、斉明天皇(天智天皇や天武天皇の母)の御代の話です。当代に造営された神殿の規模が、その後の規格になったそうです。
第3回は、平安時代最初の造営で、出雲国司主導で行われました。
第4回は、一条天皇の御代の話です。当代は、文学では清少納言や紫式部が活躍し、政治では藤原道長が実権を握った時代です。また、この時期に著された『延喜式』に、出雲大社の本殿が日本一の高層建築であることが記されています。
第6回は、出雲大社の本殿が顛倒したことで、造営がなされた話です。その顛倒という出来事を中心にお話ししたいと思います。

木曜日
10:30~12:00

4月	17日
5月	8日、22日
6月	5日、19日
7月	3日
10月	9日、23日
11月	6日、20日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円

締切日前に定員に達することがございます。

本学HPの教員紹介ページへアクセスできる二次元コードです。



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧いただけます。

テキスト

資料を配付します

講座の定員は先着順です。
締切前に定員に達することがございます。

受講にあたり、**必須**となります。

講座開始までにご用意ください。講座の際に講師から配付される場合と、事前に書籍等をご用意いただく場合がございます。

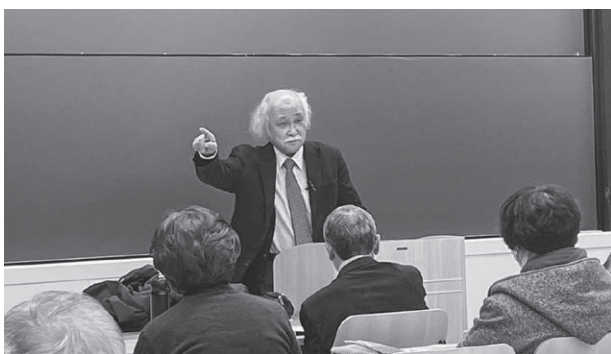
テキスト欄に書籍が記載されている場合は、講座開始までにご自身でご用意ください。

※大学生協(渋谷)でも、一部販売しております。

國學院大學オープンカレッジのご案内

オープンカレッジ講座について

- すべて渋谷キャンパスで開講いたします。
- 講座は通年または半期で完結となります。
- 大学、講師の都合等により講座を中止することがあります。
- 受講者数が10人に満たない場合は、講座を中止することがあります。



「民俗伝承学から日本文化を読む」講座の様子(令和5年度)



「仮名(二)」講座の様子(令和5年度)

◆ 会員特典 ◆

オープンカレッジは会員制を設けており、初めて受講する際は申し込み時に会員登録を行っていただきます。(有効期限はありません)

オープンカレッジ会員にご登録いただくと、**学びをサポートする様々な特典**がございます。

1. エクステンションセンター主催の講座をご案内いたします。
2. 國學院大學図書館の閲覧利用が可能となります。 ※貸出利用は出来ません。
3. 次年度オープンカレッジパンフレットを請求なしで郵送いたします。

※5年以内にご受講いただいた方のみ

【國學院大學図書館の利用方法】

「オープンカレッジ会員証」と「受講証」の二点を図書館へ持参し、所定の手続きを行ってください。

※ご利用は受講年度に限ります。

※利用の詳細は、國學院大學図書館へお問い合わせください。

■國學院大學図書館 (TEL: 03-5466-0159)

4. 大学生協で書籍や文具が割引で購入できます。

割引利用の際は、「オープンカレッジ会員証」をご提示ください。

※利用の詳細は、大学生協へお問い合わせください。

■國學院大学 生協 渋谷キャンパス

3号館地下1階 (TEL: 03-5466-0166)



生協書籍売場

受講料の割引制度について

対面講座の場合、会員区分によって受講料が異なります。

【以下の会員区分の方は、受講料が半額となります】

- 当該年度の國學院大學の学部生・大学院生
- 若木育成会会員(本学学生の保護者)
- 渋谷区・横浜市青葉区在住者
- 他校の学生

※詳細は30・31ページ「オープンカレッジ申し込み方法」をご覧ください。

会員区分一覧表

会員区分	所 属	受講料	入会金
1	一般	全 額	¥5,000
2	本学の科目等履修生	全 額	¥3,000
3	本学の卒業生	全 額	¥3,000
4	若木育成会会員	半 額	¥3,000
5	本学学部・大学院学生・法人教職員	半 額	無 料
6	渋谷区・横浜市青葉区在住者	半 額	¥5,000
7	他校の学生(高校・大学・大学院)	半 額	¥3,000

会員紹介制度 是非ご活用ください！

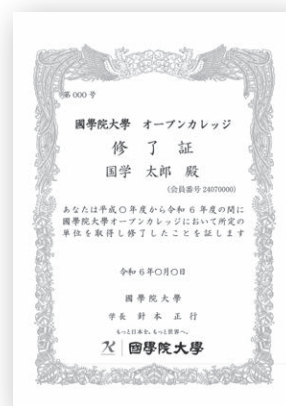
新規の受講者をご紹介いただき、紹介を受けた方が講座を受講された場合には、紹介して下さった会員の方に本学の図書カード(500円分)を差し上げます。

単位制度・修了について

- 國學院大學オープンカレッジすべての講座に、独自の単位が設定されています。
- 単位数は各講座のページにある単位数をご参照ください。
- 単位取得要件は、受講講座への3分の2以上の出席(5回講座 3回、10回講座 7回)となります。
- 累積取得単位が32単位に達した方には、「國學院大學オープンカレッジ修了証授与式」にご招待いたします。修了証授与式では、修了証と併せて國學院大學オリジナルグッズをお渡しいたします。
- 修了後も継続してご受講いただけます。



「令和5年度 修了証授与式」の様子
(國學院大學 若木タワー18階
有栖川宮記念ホール)



オープンカレッジの受講にあたって

※ご受講前に必ずご一読ください

申し込み・受講のキャンセルについて

- 受講申し込み後、やむを得ず受講を取り消す場合は、速やかにエクステンションセンターまでご連絡ください。
- 受講料等納付後、ご本人のご都合で受講をキャンセルする場合、納入された受講料等はお返しできませんので、予めご了承ください。

休講の場合

- 講師の急病、事故等、悪天候や災害、交通ストライキ等で休講する場合には、原則補講を行います。
- 休講・補講となった場合はエクステンションセンターから連絡させていただきます。お申し込みの際に、ご連絡の取りやすい電話番号・メールアドレスをお知らせください。
- 休講・補講のご連絡は、講座開始の直前になってしまう場合がございます。予めご了承ください。

欠席された場合

- 欠席のご連絡は必要ありません。
- 各講座のレジュメは、講座開始前と終了後に各講座の会場にいるスタッフが持参しております。お休みされた日のレジュメをご希望の場合は、スタッフへ直接お声がけください。

その他注意事項

- 各講座の教室は基本的に開始30分前より開室いたします。開室時間に合わせてご来校ください。
- 申し込み締切日以降でも、定員に満たない講座は開講初日の10日前まで申し込み受付をいたします。各講座の空き状況は、本学HP (<https://www.kokugakuin.ac.jp/general/eventlist/p1>) にて随時更新される「申し込み状況確認ページ」をご確認ください。
- 住所等に変更があった場合は、速やかにエクステンションセンターまでご連絡ください。
- 講座中の投影資料の撮影、録画・録音はご遠慮ください。
- 大学構内は禁煙です。
- 駐車場がありませんので、自動車・バイク・自転車での来校はできません。
- 身の回りの品にご注意ください。特に貴重品は席を離れる際には必ず身に付けてください。
- 前の講座が終わるまで教室に入らないでください。
- 講師やほかの受講者、または本学に対し迷惑となる行為があった場合は、受講をお断りすることがあります。(教室からの退出や、オープンカレッジ退会をお願いすることがあります)
- レジュメの郵送は行っておりません。
- 個人情報保護の観点から、講師や会員の住所・連絡先をお教えすることはできません。
- 地震等の災害時は、机の下に潜って身を守り、指示があるまでその場から動かないでください。
- 複数の講座をお申し込みいただいた場合、開講日程が一部重複していても、補講・録画等の特別な対応は致しておりません。予めご了承ください。

オープンカレッジFAQ

お困りの際は
こちらのページを
ご覧ください!!

◎申し込みについて

Q1. 久しぶりに申し込みたいのですが、入会金は必要ですか？

- A. 令和2年度より、オープンカレッジ会員の更新制度を廃止したため、一度ご入会いただいた方は、初年度以降入会金のお支払いは必要ありません。入会状況の確認については、エクステンションセンターへお問い合わせください。

Q2. 添付書類の「学生証の写し」について、令和7年度有効の学生証が手元に届いていません。どうしたらいいですか？

- A. お送りいただく申込書に、「添付書類は有効なものが届き次第お送りいたします。」などメモをしていただき、令和7年度より有効の学生証がお手元に届き次第、エクステンションセンターへ写しをご提出ください。

Q3. 申し込み完了の連絡はありますか？

- A. 申込書・入金両方が確認でき次第、申し込み完了のご連絡として、「受講証」および「オープンカレッジ受講に関するご案内」を郵送でお送りいたします。（3月以降より順次発送）
令和7年度より新規にお申し込みいただいた方には、「会員証」を併せてお送りいたします。

Q4. 入金はいつのタイミングで行えばいいですか？

- A. 申込書をエクステンションセンターへお送り後、直ちにご入金ください。
なお、入金確認ができた時点でお申し込みが完了となります。定員に達してしまう講座もございますので、お早めにご入金をお願いいたします。お申し込みいただいた時点で定員に達していた場合はエクステンションセンターからご連絡いたします。

Q5. 申込締切日を過ぎてからでも申し込みはできますか？

- A. 定員に達していない場合は、開講の10日前までお申し込みいただけます。
すでに開講している講座の途中申し込みは受け付けておりません。
詳細は、エクステンションセンターまでお問い合わせください。

◎受講について

Q1. 申し込みたい複数の講座のうち、開講日程が一部重複している場合には、補講等に対応してもらえますか？

- A. 一部日程が重複している講座をお申し込みいただいても、補講・録画等の特別な対応は致しておりません。お申し込みの前に、講座日程のご確認をお願いいたします。

Q2. 受講にあたって事前に用意するものはありますか？

- A. テキストが指定されている場合は、購入が必須となります。
指定されたテキストは、本学生協（TEL：03-5466-0159）でご購入いただけます。
在庫状況、営業時間等の詳細は、生協へ直接お問い合わせください。

Q3. 講座を欠席する場合、連絡は必要ですか？

- A. 欠席にあたって、エクステンションセンターへのご連絡は必要ございません。
欠席された回の資料は、後日お渡しすることができます。
各講座の教室にいるスタッフが各回の資料を持っていますので、直接お声がけください。

Q4. 自転車等で通うことは可能ですか？

- A. 大学構内には、駐車場及び駐輪場の用意はございません。
また、会場前の歩道での路上駐車も禁止されていますので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

Q5. 大学の図書館を利用するにはどのような手続きが必要ですか？

- A. 図書館に直接「オープンカレッジ会員証」と「受講証」をお持ちの上、受付の方に「オープンカレッジでの利用です」とお伝えください。なお、図書館は閲覧のみご利用いただけます。

Q6. 教室に忘れ物をしてしまった場合はどこに問い合わせをすればよいですか？

- A. エクステンションセンターへご連絡ください。落とし物を預かっている部署（渋谷キャンパス若木タワー3階 学生生活課）へご案内いたします。

Q7. 会員証・受講証を紛失した場合はどこに問い合わせをすればよいですか？

- A. エクステンションセンターへご連絡ください。再発行の手続きを行います。

Q8. 教室は何時から空いていますか？

- A. 開講時間の30分前より開室いたします。
授業等により使用されている場合は、10分前より入室が可能ですが、終了するまで入室はご遠慮ください。

Q9. 配布資料は何部までもらえますか？

- A. 配布資料につきまして、お一人様一部ずつのお渡しをしております。
欠席の方へのお預かりとしてのお渡しも出来かねますので、何卒ご了承ください。

Q10. 休講の連絡はいつ来ますか？

- A. 担当講師の急病等により、直前のご連絡となってしまう場合がございます。
緊急のご連絡先として、日頃よりお使いいただいている電話番号とメールアドレスを申込書にご記載ください。

問合せ先

國學院大學エクステンションセンター
(渋谷キャンパス若木タワー3 階企画課内)
〈TEL〉 03-5466-0270
〈e-mail〉 jigyou@kokugakuin.ac.jp

講師



國學院大學
名誉教授・博士(歴史学)
研究開発推進機構客員教授

おかだ しょうじ
岡田 莊司

専門 古代中世神道史・
分野 祭祀史

講座内容

神道を言葉化することは難しいといわれますが、学問による理解によって、神道信仰を深め、次世代に伝えていきたいと念じております。國學院に受け継がれてきた「國學院神道」の学問は、戦前・戦後の教授・研究者によって、学問と自身の信仰とが一体となって構築されてきました。柳田國男は昭和26年(1951)、77歳で國學院の専任教授(大学院)に就任し、10年間にわたり、神道講座を担当し、80歳のとき『海上の道』を刊行しました。こうした先人の先生方の思いを受け継ぎ、わたしも学問と信仰と人生とを完結できる、この講座に生き甲斐を感じながら、最終章の講義をすすめていきます。

21世紀の四半世紀が終わろうとしている今、自然災害・人為的諸事象などの困難を生き抜くためには、神道信仰における「心を守る道」を模索していくほかはありません。これまで、古代祭祀論(『古代天皇と神祇の祭祀体系』)と中世神道論(『中世神道と神社の信仰体系』)とを主軸に、現代神道に至る経緯を考察してきました。その最終章として「神話と祭祀の本源を求めて」、人と自然と共同体を結ぶ祭祀のネットワークを通して、人生を完結できる神道における生きる糧を明らかにしていきます。柳田学と折口学の「海上の道」にはじまり、河川の道、陸上の道へとつながる古代・中世の神々の信仰分布、神話の構成と歴史の始原へ向かっていき、最後には出雲神話の愛の神と幽世大神の世界へご招待し、古代人が求めつづけてきた神々とは何かを読み解いていきます。最終章になりますので、奮ってご参加ください。

第1回	人と自然と共同体を結ぶ祭祀のネットワーク
第2回	柳田学と折口学の「海上の道」へ
第3回	中世武士団と神々の勧請
第4回	延喜式内社の分布・配置
第5回	海上交通・交流と神社配置
第6回	神話の構成と歴史の始原へ
第7回	伊弉諾・伊邪那美命神話と禊祓
第8回	伊勢・天照大神と天皇祭祀
第9回	出雲・須佐之男命と大己貴命信仰
第10回	愛の神と幽世大神の世界へ

4月	16日、30日
5月	14日、28日
6月	18日
7月	2日
10月	1日、15日
11月	12日、26日

■単位数 2単位

■受講料 22,000円

締切日前に定員に達することがございます

02

出雲大社の歴史 ―神代から現代までたどる―

木曜日

10:30~12:00

講師



國學院大學
教授・博士(神道学)

にしおか かずひこ
西岡 和彦

専門 神道思想史・
分野 神道神学



二次元コードより、講師情報
の詳細をご覧ください。

講座内容

本講座は、昨年度からスタートしました。昨年度は、『古事記』『日本書紀』や『出雲国風土記』にもとづいて、スサノオやオオクニヌシを中心にお話ししました。今年度からは、出雲大社の式年遷宮を中心にお話ししたいと思います。

出雲大社は、平成の大遷宮をあわせ29回の式年遷宮を行っています。今年度の講座では、その第1回から第6回あたりまでを、10回にわたってゆっくり見てみたいと思います。

各回の式年遷宮の特徴を簡単に述べますと、

第1回は、皇子の病氣回復に感謝して、垂仁天皇が出雲大社を造営した話です。

第2回は、斉明天皇（天智天皇や天武天皇の母）の御代の話です。当대에造営された神殿の規模が、その後の規格になったそうです。

第3回は、平安時代最初の造営で、出雲国司主導で行われました。

第4回は、一条天皇の御代の話です。当代は、文学では清少納言や紫式部が活躍し、政治では藤原道長が実権を握った時代です。また、この時期に著された『口遊』に、出雲大社の本殿が日本一の高層建築であることが記されています。

第5回と第6回は、出雲大社の本殿が顛倒したことで、造営がなされた話です。その顛倒という出来事を中心にお話ししたいと思います。

4月	17日
5月	8日、22日
6月	5日、19日
7月	3日
10月	9日、23日
11月	6日、20日

■単位数 2単位

■受講料 22,000円

締切日前に定員に達することがございます。



資料を配付します

対面講座

03

『古事記』上巻を読む ―神生み～黄泉国―

火曜日

12:50~14:20

講師



國學院大學
准教授・博士(文学)

わたなべ たかし
渡邊 卓

専門 日本上代文学・
分野 神道古典・国学



二次元コードより、講師情報
の詳細をご覧ください。

講座内容

『古事記』は、今から1300年以上前に編纂された、現存最古の古典作品です。『古事記』上巻は神々の物語が展開します。今年度は、国生み・神生みを行った伊耶那岐命・伊耶那美命（イザナキ・イザナミ）の物語を中心に読み進めます。結婚した二神は、島・国そして神を生みますが、伊耶那美命は火の神を生んだことにより命を落としてしまいます。そして、妻を失った伊耶那岐命は、妻に会うために黄泉国に赴くのでした。また、二神によって多くの神々が生み出されます。ときに伊耶那美命の身体や伊耶那岐命の涙、殺された火の神の血などからも神は生まれます。これら『古事記』の世界観や神々の生成についてお話しして参ります。

本講座では『日本書紀』『万葉集』『風土記』などの他文献と比較しながら、『古事記』を読むことで『古事記』の特質を明らかにしていきます。ときには神道学や考古学の知見も活用して『古事記』が描く世界観を学んでいきます。『古事記』のおもしろさを理解いただけるよう、丁寧に講義を進めて参ります。『古事記』を読んだことがある方にも、深掘りの『古事記』をお伝えいたします。

4月	22日
5月	20日
6月	3日、17日
7月	1日
9月	30日
10月	14日、28日
11月	18日
12月	2日

■単位数 2単位

■受講料 22,000円



『新版 古事記(現代語訳付き)』 中村啓信訳注 角川ソフィア文庫 1,160円(本体価格)

04

神道考古学

月曜日

12:50~14:20

講師



新

國學院大學
教授

ふかさわ たろう
深澤 太郎

専門 考古学・
分野 宗教考古学



二次元コードより、講師情報
の詳細をご覧ください。

講座内容

倭・日本の国家形成と軌を一にして発達した「神道」。しかし、教祖・教義・
經典を持たずに始まった「神道」は、その枠組みを把握することすら容易でな
い。そこで本講義では、國學院大學ならではの「神道考古学」をテーマに掲げ、
今日に至る研究の歩みと、新たな知見を披歴していく。

- 第1回 「神道」とは何かーメタ神道考古学ー
『日本書紀』に初出する「神道」の語源を探りつつ、その本義を明らか
にする。
- 第2回 神道考古学のあゆみー「事始め」から今日までー
大場磐雄による「神道考古学」の創始から説き起こし、現在に至る方
法論的な展開を跡付ける。
- 第3回 考古学からみた「神道」のはじまりー葬送と祭祀ー
弥生時代の末から古墳時代にかけて展開した、倭王権とプロト「神道」
の発生過程を探る。
- 第4回 「神社」起源論ー神社境内遺跡の研究からー
「神社」のはじまりと、その変容について、具体的な遺跡の事例を点検
しながら概観する。
- 第5回 比較宗教考古学ー世界の宗教と神道ー
世界の宗教考古学について紹介することで、「神道」と諸宗教の共通
性・非共通性を浮き彫りにする。

4月 21日

5月 12日、26日

6月 9日、23日

■単位数 1単位
■受講料 11,000円

テキスト

資料を配付します

参考書

『まつり』 大場磐雄 学生社 1967年 『神と死者の考古学』 笹生衛 吉川弘文館 2015年
『まつりと神々の古代』 笹生衛 吉川弘文館 2023年

05

水中考古学と東アジアの中・近世世界

木曜日

12:50~14:20

講師



國學院大學
教授

いけだ よしふみ
池田 榮史

専門 日本考古学・
分野 水中考古学



二次元コードより、講師情報
の詳細をご覧ください。

講座内容

日本を含む東アジアの歴史学研究や考古学研究は基本的に陸上に残る文字資
料や考古資料を対象として調査研究を進めてきました。しかし、世界地図から
見ると、日本はアジア大陸の東に連なる大小さまざまな島々によって形作られ
ており、日本と東アジアの歴史や文化は海によって周辺地域とのつながりが閉
ざされたために、独自に発展することもあれば、逆に海を介してさまざまな地
域やそこで暮らす人々とつながることによって、新たな展開を見せることもあ
りました。

そこで本講座では、これまでの歴史研究や考古学研究が扱ってきた陸上に
残る資料だけでなく、海に関わった資料に光を当てながら、日本を含む東アジ
アの中・近世世界の歴史や文化について迫ってみたいと思います。海を介する
と、東アジアの歴史や文化はどのように見えるか、すなわち内からだけでなく、
外からの視点を加えた東アジアの中・近世世界の在り方について、受講生
の皆さんと楽しみながら探ってみたいと思います。

(取り扱う課題例)

中・近世東アジア海域の交流・交易、沈没船、中国宋・元・明王朝と周辺地域、
高麗王朝と朝鮮王朝、琉球王国、東南アジアの交易国家、貿易陶磁器の世界、
モンゴル帝国の世界、日宋・日元・日明関係史など

4月 17日

5月 8日、22日

6月 5日、19日

7月 3日

10月 9日、23日

11月 6日、20日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円

テキスト

資料を配付します

参考書

文化庁文化財第二課『水中遺跡ハンドブック』
https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/shokai/pdf/93679701_01.pdf
よりダウンロードできます。(市販 はされていません)

06

万葉古代学アラカルト 一句の話題を取り入れてー

火曜日

10:30~12:00

講師



國學院大學
教授(特別専任)・
奈良大学名誉教授・博士(文学)

上野 誠

専門分野 万葉文化論・芸能伝
承論・折口信夫論・
万葉挽歌の史的研究・
日本古代文学研究



二次元コードより、講師情報
の詳細をご覧ください。

講座内容

輝かしい古代学の伝統のある國學院大學。一方、日進月歩で進む、古代学。私たちは、どう古代と向き合えばよいのか。『万葉集』を基本としながら、考古学、歴史学の新潮流について、じっくりとお話します。

古代の官道がわかれば、万葉歌人が歩いた道がわかります。平城京から出土した木簡に記された文字が、古典研究の新視点を生み出すこともあります。万葉びとの生活と生活実感(モノとコト)。生活実感から生み出される表現(アヤ)。この二つを結びつけることができれば、私たちは、立体的に『万葉集』を読むことができます。「二次元の『万葉集』を三次元に」を合言葉に、情熱を込めて語ってゆきたいと思っています。いにしへの文に学び、伝統に学ぶ古代学アラカルトは、その時々で古代学の新潮流を取り上げてゆきたいと思います——。学びに遊び、遊びに学ぶの精神で、たのしい講義を心がけます。

4月 15日

5月 13日

6月 10日

10月 7日

11月 11日

■単位数 1単位

■受講料 11,000円

締切日前に定員に達することがございます。

テキスト

資料を配付します



参考書 万葉集

07

万葉集を読む 一巻四・巻五を読み直すー

木曜日

10:30~12:00

講師



國學院大學
教授・博士(文学)

土佐 秀里

専門分野 上代文学



二次元コードより、講師情報
の詳細をご覧ください。

講座内容

今年は巻四相聞の残りを読み切り、その後はいよいよ巻五に入ってゆきます。いよいよというのは、巻五は漢文が多く、読むのが大変だからです。テキストだけではさすがに読むのが難しいので、漢文については書き下し文をプリントで配布するつもりです。その巻五は、現在の元号「令和」の元になった梅花宴の歌(「令和」の出典はその漢文序です)や、「子等を思ふ歌」など、大伴旅人と山上憶良の二人による難しくも不思議な文学世界が広がっています。この巻を読めば、万葉集の幅広さと奥深さを感じることができるでしょう。あまり先を急がずに読んでゆきたいと思います。

- 第1回 恭仁京の家持(巻4・770~782)
- 第2回 久須麻呂と家持(巻4・783~792)
- 第3回 太宰帥大伴旅人と「報凶問歌」(巻5・793)
- 第4回 日本挽歌1(巻5・794~799)
- 第5回 日本挽歌2(巻5・794~799)
- 第6回 惑へる情を反さしむる歌(巻5・800~801)
- 第7回 子等を思ふ歌(巻5・802~803)
- 第8回 世間の住み難さを哀しむ歌(巻5・804~805)
- 第9回 龍馬の歌・梧桐倭琴の歌(巻5・806~812)
- 第10回 鎮懐石の歌(巻5・813~814)

※範囲は目安です。予定がずれることがあります。

4月 17日

5月 8日、22日

6月 5日、19日

7月 3日

10月 9日

11月 6日、20日

12月 4日

■単位数 2単位

■受講料 22,000円

締切日前に定員に達することがございます。

テキスト

『補訂版 万葉集本文篇』 佐竹昭広・木下正俊・小島憲之著
塙書房 2,100円(本体価格)

参考書

『万葉集事典』 中西進 講談社文庫
『万葉ことば事典』 大和書房 6,800円(本体価格)
『万葉事始』 和泉書院

08

源氏物語の巻々を読む ―「真木柱」巻～「若菜下」巻―

金曜日

10:30～12:00

講師



國學院大學

教授・博士(文学)

たけうち まさひこ
竹内 正彦

専門
分野

日本中古文文学



二次元コードより、講師情報の
詳細をご覧ください。

講座内容

源氏物語は五十四帖におよぶ長編物語です。本講座では、源氏物語を巻ごとにとりあげることによって、この長編物語全体の内容を視野に入れながら、心の機微を豊かに表現した物語の世界に分け入っていきます。具体的には、一回につきおおむね一つの巻を対象とし、テキストを用いてそれぞれの巻の内容をとらえたうえで、各巻の名場面を取りあげて原文で読み味わい、詳しく解説をしつつ、その世界を考えていきます。

古語による表現や時代背景、当時の習俗や習慣などについてもわかりやすく解説をしていきますので、源氏物語にはじめてふれる方や、あらためて読み直そうとお考えの方はもちろん、古典に親しんでみようとお思いの方のご参加もお待ちしております。

今年度は、光源氏の物語の終盤、「真木柱」巻から「若菜下」巻までをとりあげる予定です。とくに「若菜上」「若菜下」巻は源氏物語のなかでも読みどころの多い巻々ですので、それぞれ数回にわけてとりあげたいと思います。光源氏の晩年の物語をご一緒に読み味わってまいりましょう。

- | | |
|---------------|----------------|
| 第1回 「真木柱」巻 | 第6回 「若菜上」巻(3) |
| 第2回 「梅枝」巻 | 第7回 「若菜下」巻(1) |
| 第3回 「藤裏葉」巻 | 第8回 「若菜下」巻(2) |
| 第4回 「若菜上」巻(1) | 第9回 「若菜下」巻(3) |
| 第5回 「若菜上」巻(2) | 第10回 「若菜下」巻(4) |

4月	18日
5月	9日、23日
6月	6日、20日
7月	4日
10月	3日、17日
11月	7日、21日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円

テキスト

『2時間でおさらいできる源氏物語』（だいわ文庫） 竹内正彦著
大和書房 800円(本体価格)

参考書

『名場面で味わう源氏物語五十四帖』 竹内正彦著
ベストブック 1,800円(本体価格)

09

古典和歌入門 ―西行と日本文学―

金曜日

14:30～16:00

講師



國學院大學

准教授・博士(文学)

あらき ゆうや
荒木 優也

専門
分野

和歌文学



二次元コードより、講師情報の
詳細をご覧ください。

講座内容

西行は『新古今和歌集』に最多入集した歌人として和歌史に重要な位置を占めるとともに、その伝説も含め文学史・文化史上に大きな影響を与えてきました。

たとえば、その出家の理由は歌集などからはまったく明らかになりませんが、説話・軍記・能においては様々に語られ、現代に至るまでも小説家に取り沙汰されています。

本講義では中世・近世の文学作品を取り扱いながら、西行という歌人のイメージがどのように膨らんでいったかを見ていきたいと思います。

- | |
|-------------------------------|
| 第1回 西行の人生と和歌 |
| 第2回 西行の死と伝承の出発 ―西行「願はくは」詠の影響― |
| 第3回 歌人のイメージ ―説話集『撰集抄』を読む― |
| 第4回 植物と話すことが出来る歌人 ―西行と能― |
| 第5回 芭蕉のうちなる西行 ―『奥の細道』と西行― |

10月	3日、17日
11月	7日、21日
12月	5日

■単位数 1単位
■受講料 11,000円

テキスト

資料を配付します

参考書

資料を紹介します

講師



國學院大學
教授・博士(文学)
いwasaki masahiko
岩崎 雅彦

専門分野 能・狂言



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

室町時代に大成された我が国最古の演劇である能は、『源氏物語』『平家物語』など、多くの古典文学を素材として作られている。本講座では昨年度に引き続き、能の作品と、その素材となった文学作品を合わせて読んで行く。両者を読み比べることにより、能の作者たちが原典をどう解釈し、演劇としてどう脚色しているのかを考えてみたい。各回の内容は以下の通り。

- | | |
|--------------|-------------|
| 第1回 能「鵜」 | 第6回 能「通小町」 |
| 第2回 『平家物語』 | 第7回 能「熊坂」 |
| 第3回 能「菊慈童」 | 第8回 能「熊野」 |
| 第4回 能「野守」 | 第9回 能「夕顔」 |
| 第5回 能「卒都婆小町」 | 第10回 『源氏物語』 |

なお、希望者を対象に、能・狂言の鑑賞を予定している。

4月	24日
5月	15日、29日
6月	12日、26日
10月	2日、16日、30日
11月	13日、27日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円



テキスト 資料を配付します



参考書 『謡曲大観』 明治書院

講師



國學院大學
教授
nakamura masahiko
中村 正明

専門分野 近世文学



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

本講座は、松尾芭蕉の遺した紀行文を丹念に読み解いていくものです。松尾芭蕉は深川の庵に隠棲した後、自らの俳諧を模索し極めるために、和漢の古典文学を学び、参禅をし、そして俳諧修行の旅へと出かけていきました。その旅の様子は、紀行文『野ざらし紀行』に始まり、『鹿島詣』、『笈の小文』、『更科紀行』として書き継がれていきました。

芭蕉は、旅を重ね、多くの人々と出会い、俳諧に対する思索と研鑽を積むことによって、新しい俳諧〈蕉風俳諧〉を生み出すに至るのです。つまり彼の紀行文を読み進めることは、芭蕉の俳諧の変化と深化の過程を追うことにも通じるわけです。

今期は、いよいよ『おくのほそ道』を読み終えることになります。山中で曾良と別れた後の芭蕉の旅を読み切った後は、残された俳文や史料などから、大垣以降の足跡を追いかけていきます。そして、『おくのほそ道』の旅の翌年に近江国石山で綴った名俳文『幻住庵記』を紹介し、読解することになります。

- | |
|----------------------|
| 第1回 『おくのほそ道』 天竜寺・永平寺 |
| 第2回 『おくのほそ道』 等栽 |
| 第3回 『おくのほそ道』 敦賀 |
| 第4回 『おくのほそ道』 種の浜・大垣 |
| 第5回 『おくのほそ道』 跋・奥書 |
| 第6回 『おくのほそ道』 その後の芭蕉 |
| 第7回 『幻住庵記』(一) |
| 第8回 『幻住庵記』(二) |
| 第9回 『幻住庵記』(三) |
| 第10回 『幻住庵記』(四) |

4月	10日、24日
5月	15日、29日
6月	12日、26日
10月	2日、16日、30日
11月	13日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円



テキスト 『おくのほそ道』 萩原恭男 校注 岩波文庫 910円(本体価格)

12

『源氏物語』全講(2)

木曜日

12:50~14:20

講師



國學院大學
教授・博士(文学)

おだ まさる
小田 勝

専門分野
日本語学・
古典文法



二次元コードより、講師情報の
詳細をご覧ください。

講座内容

昨年度後期から始まった『源氏物語』全講の2回目です。前年度の続き、桐壺巻の途中から読み進めます。私は、日本語学、古典文法が専門ですから、「ことば」にこだわって、正確に読み解いて行きます。

例えば、桐壺巻で、光源氏を、素性を隠して高麗の相人に見せたところ、相人は驚いて、「あまたたびかたぶきあやしむ。」という本文があります。これを、どの現代語訳もみな、「何度も首を傾けて不思議がる」と訳しています。現代語としては、たしかに、そうなるのですけれども、原文には「首が傾いて不思議がる」と書かれています。古典語では、こういう場合、こういう表現をするのです(類例は、たくさんあります)。現代語と表現が異なるのですね。古典文を「気分」で訳さず、こういうところを丁寧に注意しながら、読んでゆきます。また、「隨身(ずいしん)」「からみつ(唐櫃)」など、語の清濁にも留意します。

この講座の受講者は、古典語、古典文についての知見を深めるとともに、我々の母語である現代日本語についてもかえりみることになるでしょう。

テキストは『対校源氏物語新釈』(平凡社)を用い、その紙面と、現代語訳と、参照例文資料とを配布します。

4月	10日、24日
5月	15日、29日
6月	12日、26日
10月	2日、16日、30日
11月	13日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円



資料を配付します

13

文学の風景 一戦中から戦後へー

土曜日

10:30~12:00

講師



國學院大學
兼任講師

おかざき なおや
岡崎 直也

専門分野
近・現代文学

講座内容

ロシアがウクライナへ侵攻し、イスラエルがハマスへ報復を開始してから世界規模の戦争への危惧が急速に高まっています。戦後日本を見違えるように立て直し、急速な高度経済成長を遂げ、またその失速が顕著な時代を生きる私たちも、戦争を遠い過去のこととはいえないのかもしれません。

言語を絶する戦争の悲惨さを、被害者として、また加害者として書き漏らすまいとする冷静なまなざしから、空襲におびえる日々のなかで家族の絆をいとおしむ温かなまなざしまで、戦後の小説には、大きな振幅があります。収入を失った元軍人の家の哀れな生活を滑稽な筆致で活写し、デパートの屋上で子守をしていた男の不可思議な変身や、生と死との境界についての粘着的な思索が日常的価値の根拠を問い返します。

私たちが当然と考えてきた価値観が揺らいでいるいま、戦中から戦後の日本の精神風景を描いた珠玉の短編を皆さんと一緒に読み直してみたいと思います。

- 第1回 太宰 治 「薄 明」(昭和21年)
- 第2回 原 民喜 「夏の花」(昭和22年)
- 第3回 安岡草太郎 「愛 玩」(昭和27年)
- 第4回 安部 公房 「棒」(昭和30年)
- 第5回 大江健三郎 「飼 育」(昭和33年)

4月	12日、26日
5月	17日、31日
6月	14日

■単位数 1単位
■受講料 11,000円



資料を配付します ※対象とする作品は変更することもありますので、あらかじめご了承ください。

講師



國學院大學
教授(文学)
いしもと みちあき
石本 道明

専門分野 中国古典文学



國學院大學博物館 企画展
『論語 for Beginners-『論語』
と格闘した江戸時代-』展示
解説動画 (YouTube)



二次元コードより、講師情報
の詳細をご覧ください。

講座内容

「吾十有五にして学に志」し、「三十にして立」ち、「四十にして惑」わなかったと、孔子は自身の人生を振り返ります。「志学・而立・不惑・知命・耳順・従心」と続くその生涯は波瀾に満ち、その一方で興味深いエピソードと名言に彩られています。

江戸時代の庶民は、『論語』の章句を声に出して素読しつつ、孔子自体を知りたいという関心も深めました。その好例が、『孔子事蹟図解』です。これは、絵図とともに孔子の生涯をたどり、史実よりも物語として楽しめる構成になっています。

昨年からの本を採り上げ、巻上・中と読み進みましたので、今年は下巻に入ります。いわゆる江戸時代の「くずし字」ですので、それを現代の文字に直す「翻字」する楽しみもあります。おそらく現在日本で本書を読解しているのは、本講座だけかと思われます。

そこで、受講の皆さんと共に、江戸の日本人がイメージしてきた孔子を理解し、標準的解釈として東アジアに広がった朱子の『論語集注』を読み、今の我々が「考えるヒント」をつかんで行ければと考えています。

本書の話題は、ほぼ『論語』に依拠しますので、『論語』を適宜参照しながら、講座テーマ「『論語』をよむ」にも対応して行きます。

4月	22日
5月	20日
6月	3日、17日
7月	1日
9月	30日
10月	14日、28日
11月	18日
12月	2日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円



『孔子事蹟図解』 コピー配布

参考URL https://www2.dhii.jp/nijl_opendata/NIJL0126/049-0009/1『論語 朱熹の本文訳と別解』 石本道明・青木洋司共著
明徳出版社 1,900円(本体価格)

以下の項目について、
ご注意くださいますようお願い申し上げます。

- レジュメの郵送は行っておりません。
- 30分前より開室いたします。
- 前の時間に講座(授業)を行っている場合は、10分前より入室可能です。
前の時間の講座が終了するまで教室に入らないでください。
- 欠席のご連絡は必要ありません。

【その他問い合わせはこちら↓】

國學院大學エクステンションセンター

(渋谷キャンパス若木タワー3階 企画課内)

☎03-5466-0270 ✉jigyoku@kokugakuin.ac.jp

コーディネーター・講師



國學院大學
教授・博士(文学)
あさの はるじ
浅野 春二

専門
分野 道教儀礼研究

講座内容

わが国がはじめて接した外国の文化は中国のものであり、日本人は中国文化の受容を通して自国の文化を形成し、自覚してきました。日本人にとっての古典とは国文学と漢文学を指します。國學院で探究されてきた学問においても、漢文学研究は重要な位置を占めています。

昨年度からスタートした漢文古典をテーマとするこの講座ですが、今年度も5人の講師がそれぞれ独自の角度から漢文古典にアプローチします。分野・時代の異なるさまざまな作品を対象とし、作品そのものを読み味わう講座や作品の背景、読解の方法に焦点を当てた講座を織り交ぜて、多角的な理解を目指します。

第1回	白楽天の詩を読む	國學院大學兼任講師 澤崎 久和
第2回	『史記』『漢書』を比べて読む	國學院大學准教授 佐川 繭子
第3回	漢文古典から見る民俗 ―異類婚姻譚を例として	國學院大學教授 立石 展大
第4回	激情の文学「楚辞」を読む	國學院大學兼任講師 木村 剛大
第5回	初期道教教団における「道」の実践 ―『老子想爾注』を読む	國學院大學教授 浅野 春二

10月 4日、18日

11月 15日、29日

12月 13日

■単位数 1単位

■受講料 11,000円



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。



テキスト 資料を配付します

16

民俗伝承学から日本文化を読む

ー「稲と米の日本」の歴史と民俗ー

講師



國學院大學
元教授・博士(社会学)
国立歴史民俗博物館名誉教授
国立総合研究大学院大学名誉教授

しんいち たかのり
新谷 尚紀

専門分野 民俗学

講座内容

國學院大學は日本民俗学を創始した柳田國男と、その学問を深く理解し國學院大學に日本の大学としてはじめて「民俗学」の講座を開設した折口信夫という二人の巨人が教授を勤めて後進を指導した大学です。その柳田國男の民俗学はフォークロアの翻訳学問ではなく、独自の「民間伝承」の学であり、歴史の中に民俗の「伝承」と「変遷」という両者の動態を読み解こうとする学問でした。はじめのころの「民間伝承学」という語が民間という階層差を含む語なので、より広い伝承文化の研究という意味で、現在では「民俗伝承学」と名乗ることで柳田と折口の学問の広さと深さを紹介してきています。偉大な二人の先人にゆかりの深い國學院大學に、私も縁を結んでいただいて若い世代の指導をさせていただき、少しずつその実が結ばれてきていることに感謝しています。そこで、私自身としまでも柳田と折口という偉大な先人への学問の上での感謝という意味で、そのささやかな恩返しを試みとして、二人が注目していた日本の「稲作」の歴史と民俗について、このたび小さな著作を上梓させていただいたところです。

考古学・農学・育種学・歴史学・民俗学という学際協業の観点から、日本という国と日本の社会をつくってきた「稲と米」という穀物に注目して、それが「貨幣」の機能も果たしてきていること、つまり稲と米と貨幣は人間の身体でいえば血液のような役割を果たしているものであり、なくてはならないものであることを紹介しながら、日本の政治と経済と文化を、その稲と米と貨幣という三つの要素に注目して根本から考え直してみたいと思います。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 第1回 稲作の定着と古墳 | 第6回 地租改正・地主制・米騒動 |
| 第2回 「稲の王」としての天皇 | 第7回 戦後食糧難から高度成長期へ |
| 第3回 武家は徴税請負人 | 第8回 農村は米食えず |
| 第4回 貨幣とは何か・小判は稲俵 | 第9回 稲作行事・神社と注連縄 |
| 第5回 石高制は先端的ながら時代錯誤 | 第10回 花田植と御神穀祭 |

水曜日

14:30~16:00

4月 16日、30日

5月 14日、28日

6月 18日

7月 2日

10月 1日、15日

11月 12日、26日

■単位数 2単位

■受講料 22,000円

テキスト

レジュメとパワーポイントを
用意します

参考書

『政治の米』『経済の米』『文化の米』ー稲と米で読む日本史 山川出版社 2025年3月
(約500頁もあるので教科書に指定するのは恐縮です。でも、手元にこの本を置いて読んでいただくのがベストです。)

対
面
講
座

17

遊べる日本美術

ー浮世絵と江戸ライフ・蔦屋重三郎と江戸出版界ー

講師



國學院大學
教授・博士(哲学)

ふじさわ むらさき
藤澤 紫

専門分野 日本美術史・日本近世
文化史・比較芸術学

復活

講座内容

国内はもとより、海外でも高い人気を誇る浮世絵。江戸庶民に愛された浮世絵の主題は、美人画、役者絵、名所絵など幅広く、暮らしに役立つ情報も満載です。版元、絵師、彫師、摺師らの共同制作で完成する錦絵（多色摺の浮世絵版画）は、まさに江戸のメディアとして発展しました。

今回は、令和7年度のNHK大河ドラマ「べらぼう〜蔦屋重三郎の夢〜」の主人公、蔦屋重三郎の活躍を皮切りに、喜多川歌麿ほか、浮世絵の黄金期をけん引した絵師の作品を読みときます。また東京国立博物館で開催予定の展覧会ほか、実際に出会える浮世絵作品に、國學院大學の浮世絵コレクションも交えて、その見どころもご紹介します。

ご一緒に、日本美術の世界に遊んでみませんか？

- | |
|---|
| 第1回 浮世絵ワールドによろこそ！〜國學院大學コレクションを中心に〜 |
| 第2回 蔦屋重三郎と江戸出版界〜「蔦屋重三郎 コンテンツビジネスの風雲児」の見どころ〜 |
| 第3回 歌麿が描いた江戸吉原〜「青楼十二時」を味わう〜 |
| 第4回 歌麿が描いた評判娘〜メディアとしての浮世絵〜 |
| 第5回 浮世絵に見る江戸ライフ〜名所絵に描かれた暮らしを読む〜 |

火曜日

10:30~12:00

4月 22日

5月 13日、27日

6月 10日、24日

■単位数 1単位

■受講料 11,000円



二次元コードより、講師情報
の詳細をご覧ください。

テキスト

資料を配付します

参考書

『NHK 浮世絵 EDO-LIFE 浮世絵で読み解く江戸の暮らし』
藤澤 紫 (監修)、NHKプロモーション・NHKエデュケーショナル (著) 講談社 2020年12月7日

講師



國學院大學

教授・博士(文学)

おおishi やす お

大石 泰夫

専門
分野

民俗学・上代文学



二次元コードより、講師情報の
詳細をご覧ください。

講師



國學院大學

教授・博士(文学)

いにくら よしゆき

飯倉 義之

専門
分野

口承文学・民俗学・
現代民俗



二次元コードより、講師情報の
詳細をご覧ください。

講師



國學院大學

教授・博士(文学)

いとう りょうへい

伊藤 龍平

専門
分野

伝承文学(近世から
近現代の説話)



二次元コードより、講師情報の
詳細をご覧ください。

講座内容

古典文学と民俗伝承を結びつけて研究する方法は、國學院大學の古典文学研究と民俗研究の大きな特色です。この講座では、それをわかりやすく講じてみたいと思います。講義は大きく分けて3通りの内容を考えています。

- 1) 日本全国の祭りと言能への誘い
- 2) 古典文学を民俗学的視点から読む
- 3) 古典文学の現代的な伝承

今年度も昨年度に引き続き、「古典文学と祭り言能」(大石)、「口承文芸と古典文学・文人の伝承」(伊藤)、「口承文芸と現代民俗」(飯倉)を担当している3人がこの講座を担当します。日程の担当と内容は以下の通りです。

- | | | |
|------|----|-------------------------------|
| 第1回 | 大石 | 祭りの年輪—葛城一言主神社の座講祭— |
| 第2回 | 伊藤 | 歌徳説話の末裔—講読『芭蕉翁行脚怪談袋』①— |
| 第3回 | 飯倉 | 言能・神事と笑い—古典と民俗学の笑い①— |
| 第4回 | 大石 | 小野小町の民俗 |
| 第5回 | 伊藤 | 芭蕉とその弟子たち—講読『芭蕉翁行脚怪談袋』②— |
| 第6回 | 飯倉 | 笑われ者たちの系譜—古典と民俗学の笑い②— |
| 第7回 | 大石 | 万葉集東歌は歌ったのか? |
| 第8回 | 伊藤 | トリックスターとしての俳諧師—講読『芭蕉翁行脚怪談袋』③— |
| 第9回 | 飯倉 | 笑う妖怪 攻撃としての笑い—古典と民俗学の笑い③— |
| 第10回 | 大石 | 雪の伝承—雪をどう見てきたのか— |

4月	19日
5月	10日、24日
6月	7日、21日
7月	5日
10月	11日
11月	8日、22日
12月	6日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円

テキスト

資料を配付します

参考書

『祭りの年輪』 大石泰夫 ひつじ書房 2016年

『怪談おくのほそ道』 伊藤龍平 国書刊行会 2016年

『伝承文学を学ぶ』 大石泰夫 飯倉義之 清文堂 2021年

講師



新

國學院大學
准教授・博士(歴史学)

やまさき まさとし
山崎 雅稔

専門分野 日本古代史



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

20年来続いている韓流ブームとともに、日本と韓国の関係は大きく変わろうとしています。ドラマなどをとおして韓国の歴史に接する機会も増えてきました。そこで、この講座では、古代にさかのぼって韓国・朝鮮と日本の交流の源流を探ってみたいと思います。

近年の考古学的発見や木簡などの出土文字資料の研究の進展によって、古代の日韓関係史像は大きく変わりつつあります。仏教史分野に関する研究もその1つであり、歴史学・仏教史学・美術史学の視座から再検討が進められてきました。仏教伝来に関する伝承・説話、仏教界の交流と記憶、仏像の像容に関する問題などです。今年度は「古代の信仰と社会」をテーマに、日韓両地域における古代仏教の展開について、関連する美術資料や文献、金石文に目を向けながら、みなさんと一緒に考えます。

各回の内容は、以下のようなテーマを予定しています。

- 第1回 『華嚴宗祖師絵伝』を読む
- 第2回 半跏思惟像と弥勒信仰(1)
- 第3回 半跏思惟像と弥勒信仰(2)
- 第4回 三国時代・新羅時代の仏教と美術
- 第5回 奈良・平安時代の仏教と新羅

10月	6日、20日
11月	10日
12月	1日、15日

■単位数 1単位
■受講料 11,000円

テキスト 資料を配付します

講師



國學院大學
教授・博士(史学)

たかはし ひでき
高橋 秀樹

専門分野 日本中世史



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

鎌倉幕府の歴史書『吾妻鏡』は、鎌倉時代を知るための基本史料です。徳川家康の愛読書であったことが知られており、明治以来の中世史研究は、『吾妻鏡』とともにあったと言ってもいいほどです。

従来の鎌倉時代史研究は、『吾妻鏡』をなぞることで進められてきましたが、最近になって、編纂物である『吾妻鏡』が何を原史料や情報源にしているのかを考えることで、『吾妻鏡』が事実を伝えている部分と、創作を加えている部分とを識別し、鎌倉時代の政治史を再構築しようとする研究が登場しました。

今年の講座では、源頼朝の挙兵として知られる治承4年(1180)8月の石橋山合戦前後の記事を取り上げ、解説を加えながら、じっくりと丁寧に読み進めていきます。一緒に『吾妻鏡』の世界に踏み入ってみましょう。

10月	2日、16日、30日
11月	13日、27日

■単位数 1単位
■受講料 11,000円

テキスト 資料を配付します

参考書

『新訂吾妻鏡―頼朝将軍記1』高橋秀樹編 和泉書院 3,900円(本体価格) 2015年
『対決の東国史2 北条氏と三浦氏』高橋秀樹 吉川弘文館 2,000円(本体価格) 2021年

21

江戸時代の古文書を読む 一家光政権成立期の古文書一

金曜日

12:50~14:20

講師



國學院大學
名誉教授・博士(歴史学)

ね ぎ し し げ お
根岸 茂夫

専門分野
日本近世史

講座内容

くずし字で書かれた江戸時代の古文書を、受講の皆さんとわかりやすく読み解いていきます。江戸時代の古文書は20億点あるといわれますが正確な数は分からず、活字になって読めるのはおそらく1~2%に過ぎません。未刊でくずし字の古文書を解読すると、さまざまな新史実を知ることができ、その背景を考えていくと江戸時代の社会や政治の特徴が浮かび上がってきます。

ところで、古文書解読の解説書は数多く出版されていますが、そうした書籍を勉強するだけで古文書を読むのはなかなか難しいことです。それは解説書の多くが、くずし字の形を「覚えなさい」と教えているからです。この講座では、覚えるよりも、なぜこんなくずし方をしたのかと、くずし字の特徴を理解しながら、江戸時代の歴史のおもしろさを古文書から実感していきましょう。なるべく現物の古文書を見る機会を設けたいと思います。

昨年度に続いて、江戸時代の流れを理解できるように時代を追って古文書を読んでいます。今回は家光政権成立期の寛永10年(1633)前後、幕政と社会が大きく転換する時代の古文書を読むつもりです。

4月 11日、25日

5月 16日、30日

6月 13日、27日

10月 10日、24日

11月 14日、28日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円

テキスト

古文書のコピーを授業中に配布します

参考書

『新編近世古文書解読字典』 柏書房(1993年刊)など、古文書字典1冊を用意されると便利です。

22

『資治通鑑』を読む

木曜日

12:50~14:20

講師



國學院大學
准教授・博士(史学)

え が わ し き ぶ
江川 式部

専門分野
中国中世史

新

講座内容

『資治通鑑』は、北宋・司馬光によって編纂された、中国の歴史書です。戦国時代から唐・五代の末にいたるまでの1362年間の歴史が、年月順に並べられた編年体とよばれる文体で記されており、1084年に完成しました。『資治通鑑』という書名は、治世に資するという意味をこめて、本書の献上を受けた時の皇帝・神宗から賜ったものです。編纂にあたっては、『史記』『隋書』などの正史のほか、皇帝の言行録である『実録』とよばれる史料や、筆記小説などを含む322種類もの書物が参照されており、政治・戦争・社会・経済・制度・学術などさまざまな事象について幅広い記述がみられます。とくに唐~五代の部分については、多くの根本史料が含まれており、『旧唐書』などの正史の不備を補う存在としても重要な一書です。このため歴代中国においてはもとより、日本を含む東アジア地域において、長く読み継がれてきました。

この講座では、中国の歴史書の中でも屈指の名著とされるこの『資治通鑑』を読み解いていながら、11世紀の中国における歴史叙述のありかたと、史実のとらえ方について、さまざまな角度から考えてみたいと思います。

10月 9日、23日

11月 6日、20日

12月 4日

■単位数 1単位
■受講料 11,000円



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

テキスト

資料を配付します

参考書

『資治通鑑』 田中謙二編訳 ちくま学芸文庫 1,700円(本体価格) 2019年
『資治通鑑』 竹内照夫 明德出版社 1971年

23

ロシア語のとびらを開く 歴史、文化、そして現代のロシアを知る

講師



国学院大学
教授・博士(学術)
かみなが えいすけ
神長 英輔
専門 分野 ロシア近現代史・東北アジア近現代史

復活

講座内容

この授業はロシア語を初めて学ぶ方向向けの授業です。全5回の授業の目標はロシア文字の読み書きと簡単なあいさつ表現の修得です。言語の修得と合わせ、ロシアの歴史、文化、現代のロシアの人々の生活についての理解を深めるため、参加者のみなさんとの対話の時間を多く取りたいと思います。

下記の『集中講義のロシア語』を教科書として使います。授業回が少ないため、必ず事前に教科書を入手し、第1課から第5課まで読み、可能な限りの予習をしてください。

予習に際しては、日本語の解説を黙読するだけでなく、ロシア語の文字や文を必ず音読してください。必要な音声教材は下記の白水社サイトからダウンロードできます。また、参考書として示した下記の習字帳も事前に購入し、開講前に可能な限りでロシア文字を書く練習を進めてください。予習や復習の際には、自習で理解できなかったことを整理し、次の授業回にそれらについて質問してください。

授業回が限られるため、教科書の内容をすべて扱うことはできません。あらかじめご了承ください。参加者の人数によっては来年度前期の続編の開講を検討します。



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

テキスト

『集中講義のロシア語』 黒田龍之助著 白水社 1,900円(本体価格)
<https://www.hakusuisha.co.jp/book/b487262.html>

参考書

『新ロシア語習字帳』 株式会社日ソ
<http://www.nisso.net/subject/asp/detailxx.asp?eng=H0194>

水曜日

10:30~12:00

4月 23日

5月 7日、21日

6月 11日、25日

■単位数 1単位

■受講料 11,000円

対面講座

24

世界の中の日本 ―激動の国際情勢を読む―

講師



国学院大学
客員教授
産経新聞編集局客員編集委員
くぼた りこ
久保田るり子
専門 分野 国際関係、安全保障、アジア情勢、朝鮮半島問題、日本外交

講座内容

米国に第二次トランプ政権がスタートする2025年は、国際情勢が劇的な変化を起こす年となりそうだ。米国は国際社会における役割についてその影響力の衰退が言われて久しいが、「されど超大国、米国」である。世界最大の経済大国、核大国、軍事大国である。米国のふるまいは、ロシアを動かし、中国を締め上げ、イランを封じ込めるだろう。そして、ウクライナ戦争の行方や米中新冷戦の行方は転換点を迎えると予測される。いまアジアも大きく動いている。人口で中国を抜いて世界1となったインドは存在感を増して、中国に伍するアジアの大国となった。成長著しいASEANは、米中のはざまにあって模索の時代が続いている。北朝鮮はウクライナに派兵し、韓国は尹錫悦政権の「非常戒厳」宣布と弾劾審判で大きく揺れている。この講座は、時々刻々と変化する国際情勢の実態をその背景とともにフォローし、世界の地域情勢を把握しながら国際社会の潮流を知ることを目指している。そうした時代の中、では日本は、日本人はどのような場所にいるのだろうか。10回の講座を通じて私たち自身の「現住所」を確認してみたいと思っている。

金曜日

10:30~12:00

4月 11日、25日

5月 16日、30日

6月 13日、27日

10月 10日、24日

11月 14日、28日

■単位数 2単位

■受講料 22,000円

テキスト

資料を配付します

実技講座「書道」の受講にあたって

※必ず事前にご一読ください

実技講座「書道」をご受講の皆様へ

●受講料は1講座 一律「25,000円」です。

※受講料の割引制度の適用外となります。予めご了承ください。

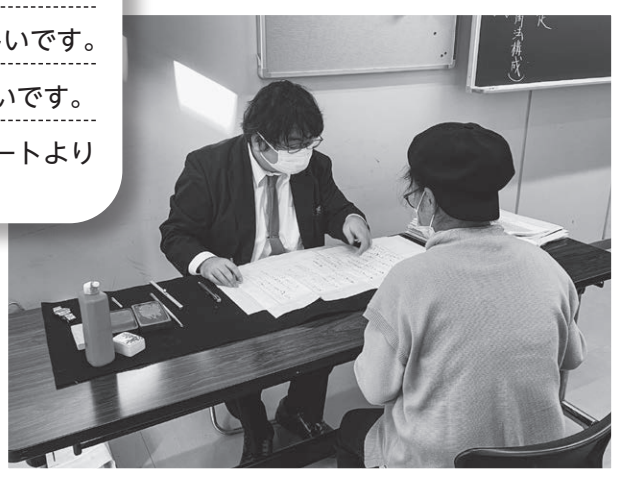
- 全ての講座を渋谷キャンパスで開講いたします。
- 各講座半期**10回**の講座です。
- 定員は**25名**です。先着順となりますので、お早めにお申し込みください。

※一部テキストは、國學院大學生協(渋谷)のみの取り扱いとなります。

詳細は25～26ページの各講座内容をご確認いただき、在庫状況等の確認は
本学生協(☎03-5466-0159)へ直接お問合せください。

- 内容が豊富でとても良い勉強になりました。
- 毎回、先生がとても熱心に教えてくださいます。
- 基本から丁寧に教えて頂きました。
- 学校で学べるのが非常に嬉しく、とても楽しいです。
- 毎回直接教えて頂けるのが、とてもありがたいです。

受講者アンケートより



「仮名(二)」講座の様子(令和5年度)

25

漢字(一)〈中級・上級〉 一行書・般若心経一

月曜日

10:30~12:00

講師



國學院大學

准教授

のむら

野村 ひかり

専門分野

書道・中国書道史



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

本講座では、大筆を用いて、行書で「般若心経」を学びます。

手本とする名品は、趙孟頫(1254-1322)筆による「般若心経」です。

趙孟頫は、南宋の宗室の出身ながら元代においても高官にのぼり、元代の書画を領導した文人として知られています。2022年に没後700年を迎え、近年とみに研究・評価に進展を見せています。

その書は王羲之(321-379 異説あり)復古を基調とするもので、本講座では、羲之の文字を集字した「般若心経」を趙孟頫がどのように学んだかを考えていきます。

行書の基本から学ばれる方にも、ご経験者の方にも適した内容です。ご経験の有無に応じて、個別に対応させていただきます。

講座第1回目に書道用具一式をご持参ください。書道用具をお持ちでない方は、第1回目に説明させていただきますので、その後ご購入ください。(第1回目はお貸しいたします)

テキストは、第1回目の講座前に、本学生協(3号館地下1階)にてお求めください。

初めて書道にふれる方も歓迎いたします。

4月	21日、28日
5月	12日、19日、26日
6月	2日、9日、16日 23日、30日

■単位数 2単位
■受講料 25,000円
■定員 25名(先着順)

テキスト

『集字聖教序 墨皇本與趙孟頫臨本』 文物出版社
3,456円(國學院大學学生協販売価格)

参考書

決定版『中国書道史』 角井博監修 芸術新聞社 2,800円(本体価格)

26

漢字(二)〈中級・上級〉 一集字聖教序一

月曜日

10:30~12:00

講師



國學院大學

准教授

のむら

野村 ひかり

専門分野

書道・中国書道史



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

「集字聖教序」は、王羲之(321-379 異説あり)の行書を習う手本として、唐代以来重んじられてきました。行書を学ぶには避けて通れない基本的な古典ではありますが、習う視点がとても難しい題材です。それは王羲之の没後約300年経た後に羲之の文字を集字してつくられたものであるからです。王羲之の真の姿はどのようなものであったのか、文字を構築する一本一本の線はどのようにとらえて学べばいいか等、正解はありません。

そこで本講座では、趙孟頫(1254-1322)という元代を代表する書家がどのように「集字聖教序」をとらえたかという視点で学んでいきます。

趙孟頫の気品あふれる作風や、しなやかで強靱な線を参考にすることは、王羲之に想いを馳せる学びでもあり、初学の方からご経験者の方まで心地よい空間を共有できることと思います。

後期(本講座)から受講することも可能です。

ご経験の有無に応じて、個別対応させていただきます。

講座第1回目に書道用具一式をご持参ください。書道用具をお持ちでない方は、第1回目に説明させていただきますので、その後ご購入ください。(第1回目はお貸しいたします)

テキストは、第1回目の講座前に、本学生協(3号館地下1階)にてお求めください。

初めて書道にふれる方も歓迎いたします。

10月	6日、20日、27日
11月	10日、17日
12月	1日、8日、15日 22日
1月	19日

■単位数 2単位
■受講料 25,000円
■定員 25名(先着順)

テキスト

『集字聖教序 墨皇本與趙孟頫臨本』 文物出版社
3,456円(國學院大學学生協販売価格)

参考書

決定版『中国書道史』 角井博監修 芸術新聞社 2,800円(本体価格)

仮名(一)〈初級〉

— 仮名書道に親しむ(平仮名・変体仮名) —

月曜日

12:50~14:20

講師



國學院大學
教授・博士(芸術学)

はしもと たかあき
橋本 貴朗

専門分野

書道・日本書道史



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

今日の仮名書道の学習において第一に推奨される「高野切第三種」に主によりながら、平仮名と変体仮名（平仮名以外の仮名）を、順を追って丁寧に学んでいきます。仮名書道の基本的な筆使いの習得を目指すとともに、関連する日本書道史の基礎知識についても学んでいきたいと思います。

必要な用具・用材については、講座第1回で説明します（第2回以降、必携）。第1回を除き、各回ともに講義と実習が、およそ半々の予定です。なお添削は、講座2回につき1回程度となる場合もあります。

※仮名書道初心者の方、歓迎です

4月	21日、28日
5月	12日、19日、26日
6月	2日、9日、16日 23日、30日

■単位数 2単位
■受講料 25,000円
■定員 25名(先着順)

テキスト

資料を配付します

参考書

『「かな」の疑問100』 村上翠亭著 芸術新聞社 1,800円(本体価格)

『図説かなの成り立ち事典』 森岡隆著 教育出版 2,500円(本体価格)

仮名(二)〈中級〉

— 継色紙 —

月曜日

12:50~14:20

講師



國學院大學
教授・博士(芸術学)

はしもと たかあき
橋本 貴朗

専門分野

書道・日本書道史



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

平安時代の古筆（古人の筆跡）を代表する優品の一つ「継色紙」を取り上げます。名前に「色紙」とありますが元は冊子本で、巧みな散らし書き（行の長短・高低や行間の広狭などに変化をつけた書き方）により『万葉集』『古今和歌集』などの歌が書かれています。

その散らし書きの特性をはじめとして、料紙（書かれた紙）・装丁（本の仕立て方）等、様々な観点から丁寧に見ていくことで、「継色紙」に対する理解を深めるとともに、仮名書道の技法の一層の習熟を目指します。原寸臨書を中心に、倣書（特定の書風を模倣して書くこと）にもチャレンジしたいと考えています。

必要な用具・用材については、講座第1回で説明します（第2回以降、必携）。第1回を除き、各回ともに講義と実習が、およそ半々の予定です。なお添削は、講座2回につき1回程度となる場合もあります。

9月	29日
10月	6日、20日、27日
11月	10日、17日
12月	1日、8日、15日、 22日

■単位数 2単位
■受講料 25,000円
■定員 25名(先着順)

テキスト

資料を配付します

参考書

日本名筆選13「継色紙」 伝小野道風筆 二玄社

『「かな」の疑問100』 村上翠亭著 芸術新聞社 1,800円(本体価格)

エクステンションセンターが主催する公開講座のご紹介

オンライン公開講座

高等教育機関として培った知見やノウハウを広く社会に還元することを目的として、年齢・性別・学歴・地域等を問わず、多様化した時代にふさわしい講座の発信をしています。

オンラインの特性を活かし、ご都合の良い時間、場所にて受講いただけるよう、オンデマンド配信講座を多く取り揃えています。

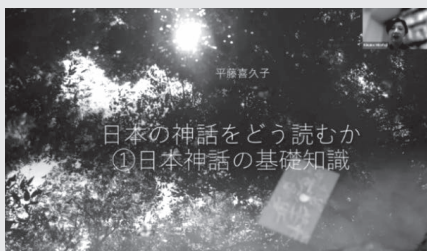
本学の学部（文学/神道/法学/経済/人間開発/観光まちづくり）ごと、また時勢に応じた幅広い分野の講座を展開していきます。

【参考】令和6年度 オンライン公開講座

「渋谷学2 渋谷をめぐる一渋谷とその隣接エリアから考える」

【第4回】「代官山―洗練された生活空間はいかにして形成されたのか―」

講師：手塚 雄太（國學院大學文学部 史学科准教授、コーディネーター）



【参考】令和6年度 オンライン公開講座

「【アーカイブ配信】日本の神話をどう読むか」

【第1回】「日本神話の基礎知識」

講師：平藤 喜久子（國學院大學神道文化学部教授、コーディネーター）

今後開講を予定している講座については、右記二次元コードまたはURLの「公開講座専用ページ」にて随時更新いたします。

申込方法・配信動画の視聴方法は、次の28ページをご確認ください。

〈公開講座専用ページ〉

<https://kokugakuin.sa-advance.com/>



公開古典講座

昭和初期に開講した「萬葉講座」の流れを受け継ぎ、「古典文学の國學院」ならではの伝統に根ざした内容の、夏季短期集中講座です。

『萬葉集』・『源氏物語』を、5日間集中的に学ぶことができます。

講座内容、お申し込み方法等詳細は、6月中旬にHPまたはリーフレットにて情報を公開いたします。



「公開古典講座」講座の様子（令和5年度）

公開講座専用ページのご利用方法

「公開講座専用ページ(<https://kokugakuin.sa-advance.com/>)」では、
①講座検索、②お申込み、③受講(配信動画視聴)を行うことができます。
受講までの流れは下記のステップで行えます。

〈公開講座専用ページ〉



パソコン画面



スマートフォン画面



ステップ① 講座の申し込み



バナーの「講座検索」より受講したい講座を選択し、下記「受講申込>」よりお申込みください。

ステップ② 受講料のお支払い

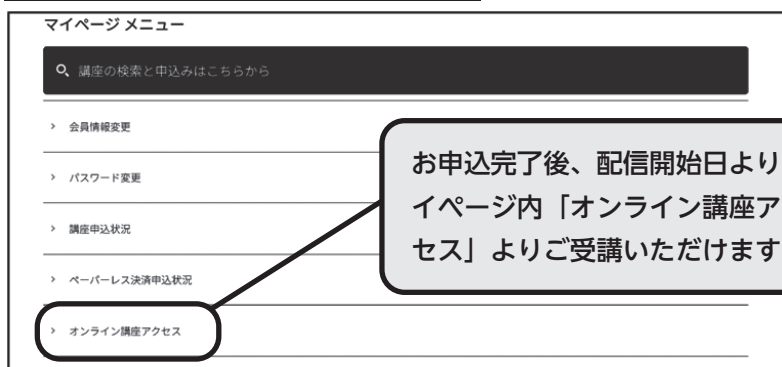


決済方法は下記2つよりお選びいただけます。

- ① クレジットカード決済
- ② ペーパーレス決済 (コンビニ支払い)

※スマートフォンなどの画面に表示されるバーコード・払込用番号を利用してレジまたは店頭に設置されているマルチメディア情報端末で代金を支払います。

ステップ③ マイページから講座を受講



お申込完了後、配信開始日よりマイページ内「オンライン講座アクセス」よりご受講いただけます

ご不明点等ございましたら、
エクステンションセンター
までお問い合わせください。

☎03-5466-0270

✉jigyoku@kokugakuin.ac.jp

國學院大學博物館のご紹介

國學院大學博物館は、國學院大學が有する数々の学術資料や研究成果を発信する施設です。館内は、考古・神道・校史の3つの展示ゾーンと、さまざまなテーマによる研究成果を公開するための企画展示室で構成されています。展示場の総面積は約1600平米、およそテニスコート6面分の広さがあります。年間5～6回の企画展・特別展を開催しており、オンラインミュージアムでも展示をお楽しみいただけます。

開館時間 ■ 10:00～18:00(入館は17:30まで)

ミュージアムショップ：10:30～17:30

開館日 ■ 通年(土・日・祝日含む)

休館日 ■ 月(祝日を除く)

※博物館ウェブサイトの開館カレンダーでご確認ください。

入館料 ■ 無料

問合せ先 ■ TEL：03-5466-0359

URL：http://museum.kokugakuin.ac.jp/

ミュージアムショップにて、図録、展示関連書籍、オリジナルグッズなどを販売しています。



「國學院大學萬葉の花の会」のご紹介

平成5年、たまプラーザキャンパスに、國學院大學教職員有志が、萬葉集ゆかりの植物を植栽して、「萬葉の小径」を開設いたしました。植物を通して「萬葉集」に親しみ、「萬葉集」を通して日本の自然や文化を理解するため、広く一般の方々を対象に年1回、公開講座を開催しています。

開催時期 ■ 9月中旬(予定)

会場 ■ 國學院大學 たまプラーザキャンパス(予定・詳細は、毎年7月頃決定となります)

会費 ■ 2,000円(学生1,500円)

※資料代・通信費を含む。会費は変更になる場合があります。

萬葉弁当代 ■ 萬葉弁当代 ※申込時の事前受付のみ 1,200円

発行物 ■ 萬葉の花ごよみ(カレンダー)

「萬葉の花の会」オリジナルカレンダーです。

萬葉の花が、12か月分12種類、季節ごとに鮮やかな写真で掲載されています。また、各月ごとに写真と関連した歌が添えられています。

毎年12月頃発行

※予約販売のみ(「萬葉の花の会」開催時に、予約を受け付けております)

問合せ先

萬葉の花の会 幹事 大久保 規志(國學院大學 神道研修事務課内)

TEL 03-5466-0891 FAX 03-5466-0163

オープンカレッジ申し込み方法

【STEP①】 申し込み



FAXの場合

パンフレット付属の受講申込書
(FAX用)に必要事項を記入
※払込取扱票まで全て記入して
ください



ハガキの場合

パンフレット付属のハガキに必要事項を記入(両面)
※個人情報保護シールも是非ご活用ください。



メールの場合

二次元コード、またはURLより
受講申込書(Excel)をダウンロードし入力 (FAX用紙の写真添付も可)



受講申込書二次元コード
(<https://x.gd/wXSzg>)

●新規→受講料 + 入会金

●継続→受講料のみ

※会員区分によって金額が異なる為、次ページの
「会員区分一覧表」を必ず確認しながらご記入ください

【STEP②】 発送

払込取扱票を切り離さずに
エクステンションセンターへ
FAXする
送信先↓
03-5466-0394

85円切手を貼付のうえ投函。

受講申込書(Excel)を保存し、
メールに添付して送信。
送信先↓
jigy@kokugakuin.ac.jp

添付書類の提出が必要な場合は同送

※次ページの「会員区分一覧表」を確認

【STEP③】 振込

〈振込方法①〉

受講申込書(FAX用)の払込取扱票を記入し、
下記のどちらかで振込。

- 郵便局
- ゆうちょ銀行ATM

〈振込方法②〉

ゆうちょ銀行ネットバンキングにて振込。

- 預金項目：当座預金
- 店名：〇一九支店(ゼロイチキウ店)
- 店番：019 ●口座番号：[0603401]
- 加入者名：國學院大學エクステンションセンター

※お間違いのないよう振込前に確認をお願いします。

申込締切日：3月19日(水)

受講証受領

3月以降、入金の確認ができ次第エクステンションセンターより順次発送
新規の会員証は、受講証とともにお送りします

全講座先着順です。

- ◆各講座の申し込み状況を、随時大学HPにて更新いたします。ご確認のうえ、お申し込みください。
- ◆後期講座も併せてお申し込みください。
- ◆定員に達した場合はお申し込みをお断りすることがあります。

各講座内容の
ページで確認

会員区分一覧表

会員区分	所 属	受講料	入会金	添付書類
1	一般	全 額	¥ 5,000	
2	本学の科目等履修生	全 額	¥ 3,000	科目等履修生証の写し ※毎年度提出
3	本学の卒業生	全 額	¥ 3,000	
4	若木育成会会員	半 額	¥ 3,000	学生証の写し ※毎年度提出
5	本学学部・大学院学生・法人教職員	半 額	無 料	学生証の写し・他 ※毎年度提出
6	渋谷区・横浜市青葉区在住者	半 額	¥ 5,000	在住を証明するもの (免許証・健康保険証等の写し) ※入会時に提出
7	他校の学生(高校・大学・大学院)	半 額	¥ 3,000	学生証の写し ※毎年度提出

- ◆会員区分の併用はできません。
- ◆会員区分6の方が居住の区から転出される場合は、必ずエクステンションセンターにご連絡ください。
- ◆実技講座「書道」は受講料の割引対象外です。

【お申し込みに関する注意事項】

- ◆複数の講座をお申し込みいただいた場合、開講日程が重複していても、補講・録画等の特別な対応は致しておりません。予めご了承ください。
- ◆メール申し込み用の受講申込書URLはこちらです。➡(<https://x.gd/wXSzg>)
- ◆メールでのお申し込みにつきまして、FAX用受講申込書に記入したものを、データ(PDFまたはJPEG)で添付してお送りいただいてもかまいません。
- ◆FAXでのお申し込みの際は、払込取扱票を切り離さずに送信してください。
- ◆入金の確認ができた時点で申込完了となります。申込書をお送りいただきましたら、直ちにご入金をお願いいたします。
- ◆申込完了のご連絡として、「受講証」および「オープンカレッジ受講に関するご案内」を郵送でお送りいたします。令和7年度より新規にお申し込みいただいた方には「会員証」を併せてお送りいたします。

申込記入例

國學院大學 オープンカレッジ受講申込書 (FAX用)	受付	入力	入金	備考

申込日：令和 7 年 月 日

講座番号	講 座 名	受 講 料
01	神道を知る講座20	22,000 円
18	古典と民俗学5	22,000 円
27	仮名(一)〈初級〉	25,000 円
		円
		円

入会金

合 計

- 2) 添付書類がある場合は、郵送もしくは、メールに添付(PDF・JPEG)をしてお送りください。

●新規ご入会の方で、ご紹介者(オープンカレッジ現会員)がいいらっしゃる場合ご記入をお願いします。

紹介者氏名		紹介者 会員番号							
-------	--	-------------	--	--	--	--	--	--	--

申込書の送り方（FAX送信等）について

- 1) このページを切り取り、直接FAX（申込書と払込取扱票を切り離す前）してください。
このFAXで申し込まれた方は、巻末のハガキを送る必要はありません。
- 2) 申し込み後、直ちに受講料等を郵便局またはゆうちょ銀行ATMよりお振込ください。
- 3) この申込書をメールに添付（PDF・JPEG）をして申し込みも可能です。

下を切り離さずFAXしてください。

FAX 03-5466-0394 •

表と裏の向き（送信面）は合っていますか？ e-mail jigyoku@kokugakuin.ac.jp

00										東京										払込取扱票									
口座記号										番号										金額									
001605										603401										千・百・十・万・千・百・十・円 ¥690000									
国學院大學エクステンションセンター										料金										備考									
※ オープンカレッジ										会員番号										会員区分									
新 規										20×××××××										①・2・3・4・5・6・7									
〒252-0206																													
住所 神奈川県相模原市中央区淵野辺五丁目977番地75																													
フリガナ コクガク タロウ																													
氏名 國學 太郎																													
TEL 042-xxxx-xxxx (090-xxxx-xxxx)																													
e-mail kokugaku@xxxx.x.x.jp																													
欄 生年月日 昭和・平成 年 月 日生																				日 附 印									
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号東第55517号) これより下部には何も記入しないでください。																													

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0 0 1 6 0 5									
加会者名	國學院大學エクステンションセンター									
金額	千	百	十	万	千	百	十	円	角	分
				¥	6	9	0	0	0	
依頼人	おなまえ様									
料金	(消費税法別) 日 附 印 円									
備考										

この受領証は、大切に保管してください。

全て記入し下半分(払込取扱票)を切り取らない状態でFAXしてください。表と裏を確認してください。会員区分1・3以外の方は添付書類が必要です。その後郵便局等で振込をお願いします。

オープンカレッジ会員の方は会員
番号(8桁)を記入、新規の方は新
規に○を付けてください。

同姓同名の方がいらっしゃいますのでご記入ください。

急な連絡のために必要となります
ので携帯電話をお持ちの方は併せ
てご記入ください。

國學院大學 オープンカレッジ受講申込書(FAX用)

受付	入力	入金	備考

希望講座名

申込日：令和 7 年 月 日

講座番号	講座名	受講料
		円
		円
		円
		円
		円

新規ご入会の方 ➡

※入会金は、31ページ「会員区分一覧」でご確認ください。

入会金	
円	
合計	
円	

- 1) 申し込みの手順は30・31ページの「申し込み方法」をご覧ください。
- 2) 添付書類がある場合は、郵送もしくは、メールに添付(PDF・JPEG)をしてお送りください。

●新規ご入会の方で、ご紹介者(オープンカレッジ現会員)がいいらっしゃる場合ご記入をお願いします。

紹介者氏名		紹介者 会員番号									

申込書の送り方(FAX送信等)について

- 1) このページを切り取り、直接FAX(申込書と払込取扱票を切り離す前)してください。
このFAXで申し込まれた方は、巻末のハガキを送る必要はありません。
- 2) 申し込み後、直ちに受講料等を郵便局またはゆうちょ銀行ATMよりお振込ください。
- 3) この申込書をメールに添付(PDF・JPEG)をして申し込むことも可能です。

下を切り離さずFAXしてください。

FAX 03-5466-0394

表と裏の向き(送信面)は合っていますか?

e-mail jigyou@kokugakuin.ac.jp

下半分を切り離す前にFAXしてください

00		東京		払込取扱票																																	
		口座記号番号																		金額		千		百		十		万		千		百		十		円	
00		160		5		603401		金額																													
加入者名		國學院大學エクステンションセンター																		料金				備考													
ご依頼人・通信欄		※ オープンカレッジ																																			
		会員番号																会員区分																			
		新規																1・2・3・4・5・6・7																			
		〒																																			
		住所																																			
		フリガナ																																			
		氏名																																			
		TEL																																			
		e-mail																																			
		生年月日		昭和・平成														年		月		日生															
		裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)(承認番号東第55517号)																																			
		これより下部には何も記入しないでください。																																			

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号		001605603401																	
加入者名		國學院大學エクステンションセンター																	
金額		千 百 十 万 千 百 十 円																	
おなまえ																			
ご依頼人		様																	
料金		(消費税込み) 日 附 印																	
備考		円																	

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

この受領証は、大切に保管してください。

85円切手を貼って
投函してください

郵便はがき

85円切手
をお貼り
ください

1 5 0 8 4 4 0

東京都渋谷区東4-10-28
國 學 院 大 學
エクステンションセンター行

個人情報保護シール

個人情報保護シール

必要事項をお書きになりましたら、添付のシールをはがし、
はがき宛名面の個人情報欄に貼ってください。

※シールは1度貼ると貼り直しできません。



下
半
分
を
切
り
離
す
前
に
F
A
X
し
て
く
だ
さ
い

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・この用紙による、払込料金は、ご依頼様が負担することとなります。
- ・ご依頼様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙

課税相当額以上

貼 付

印

この場所には、何も記載しないでください。

國學院大學 オープンカレッジ受講申込書(FAX用)

受付	入力	入金	備考

希望講座名

申込日：令和 7 年 月 日

講座番号	講座名	受講料
		円
		円
		円
		円
		円

新規ご入会の方 ➡

※入会金は、31ページ「会員区分一覧」でご確認ください。

入会金	
円	
合計	
円	

- 1) 申し込みの手順は30・31ページの「申し込み方法」をご覧ください。
- 2) 添付書類がある場合は、郵送もしくは、メールに添付(PDF・JPEG)をしてお送りください。

●新規ご入会の方で、ご紹介者(オープンカレッジ現会員)がいいらっしゃる場合ご記入をお願いします。

紹介者氏名		紹介者 会員番号									

申込書の送り方(FAX送信等)について

- 1) このページを切り取り、直接FAX(申込書と払込取扱票を切り離す前)してください。
このFAXで申し込まれた方は、巻末のハガキを送る必要はありません。
- 2) 申し込み後、直ちに受講料等を郵便局またはゆうちょ銀行ATMよりお振込ください。
- 3) この申込書をメールに添付(PDF・JPEG)をして申し込むことも可能です。

下を切り離さずFAXしてください。

FAX 03-5466-0394

表と裏の向き(送信面)は合っていますか?

e-mail jigyou@kokugakuin.ac.jp

下半分を切り離す前にFAXしてください

00		東京		払込取扱票																	
		口座記号番号		金額		千		百		十		万		千		百		十		円	
00		1605		603401																	
加入者名 國學院大學エクステンションセンター				料金		備考															
※ オープンカレッジ																					
会員番号				会員区分																	
新規				1・2・3・4・5・6・7																	
〒																					
住所																					
フリガナ																					
氏名																					
TEL																					
e-mail																					
生年月日				昭和・平成		年		月		日生											
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)(承認番号東第55517号)																					
これより下部には何も記入しないでください。																					

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

振替払込請求書兼受領証

切り取らないでください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

口座記号番号		001605																	
		603401																	
加入者名		國學院大學エクステンションセンター																	
金額		千		百		十		万		千		百		十		円			
おなまえ																			
ご依頼人		様																	
(消費税込)		日 附 印																	
料金		円																	
備考																			

この受領証は、大切に保管してください。

85円切手を貼って
投函してください

郵便はがき

85円切手
をお貼り
ください

1 5 0 8 4 4 0

東京都渋谷区東4-10-28
國 學 院 大 學
エクステンションセンター行

個人情報保護シール

個人情報保護シール

必要事項をお書きになりましたら、添付のシールをはがし、
はがき宛名面の個人情報欄に貼ってください。

※シールは1度貼ると貼り直しできません。



下
半
分
を
切
り
離
す
前
に
F
A
X
し
て
く
だ
さ
い

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・この用紙による、払込料金は、ご依頼様が負担することとなります。
- ・ご依頼様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙

課税相当額以上

貼 付

印

この場所には、何も記載しないでください。

渋谷キャンパス

案内図



所在地

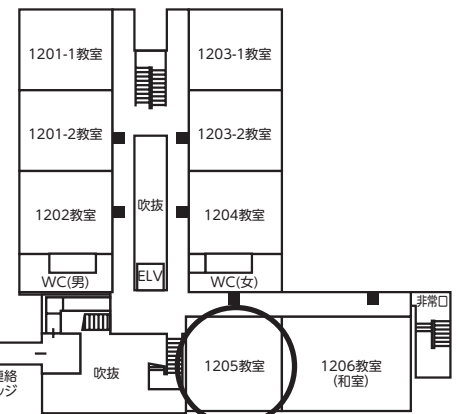
〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

渋谷駅からのアクセス

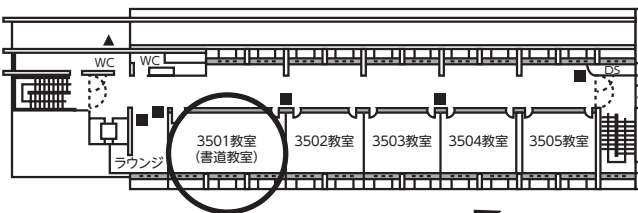
- 渋谷駅 (JR各線・地下鉄各線・東急各線・京王井の頭線) から徒歩約13分
- 渋谷駅 (JR各線) 新南口から徒歩約10分
- 都営バス (渋谷駅東口バスターミナル54番のりば 学03日赤医療センター行)
「国学院大学前」または「東四丁目」下車 (運賃180円・IC178円)

120周年記念1号館

2F

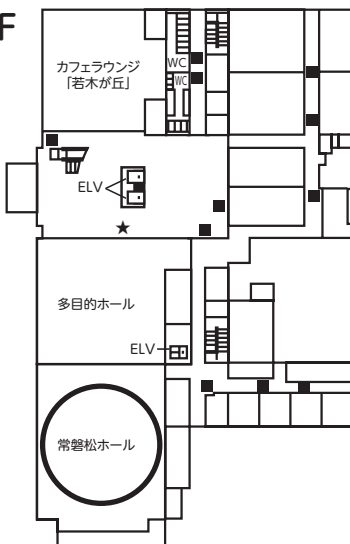


3号館 5F



学術メディアセンター棟

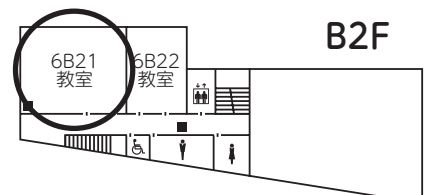
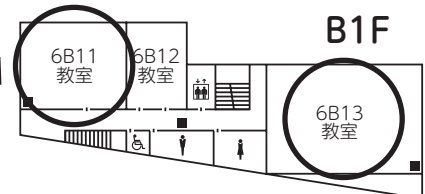
1F



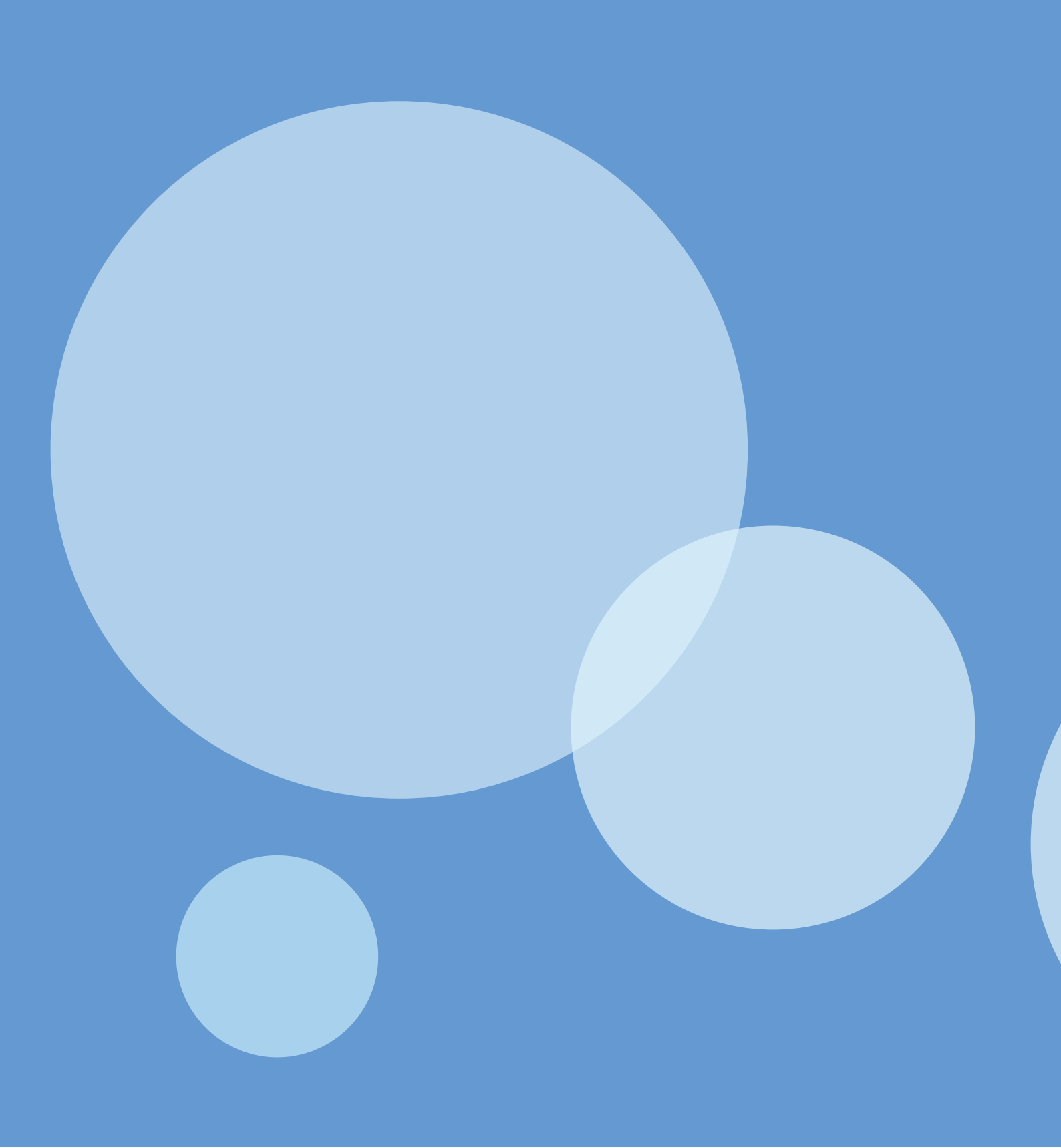
N



総合学修館(6号館)



■消火器
★AED



國學院大學エクステンションセンター

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

TEL 03-5466-0270

FAX 03-5466-0394

E-mail jigyoku@kokugakuin.ac.jp